

「積極的に滑りたい」

トリノ五輪
出場内定

伊藤選手、一家で笑顔

日野町大窪の伊藤みきさん(18)は近江兄弟社高3年が26日、フリースタイルスキー・モーグルのトリノ五輪日本代表選手に内定した。代表内定の連絡を受け、伊藤選手を支え続けてきた家族に喜びが広がった。

伊藤選手は、奥伊吹スキー場での練習を終えた直後、自宅にいた祖母の福永久さん(77)からの携帯電話で内定を知らさ

れ、自宅に戻って家族全員から祝福を受けた。「五輪はもっと上の存在かと思っていた。失うものは何もないので、五輪では積極的な滑りをみせたい」と意気込みを語った。

伊藤選手は、3歳のころに姉のおづささん(20)と中京大2年とともにスキーを始め、小学2年のころにモーグルと出会った。その後は父の公英

さん(47)、母の敦子さん(48)、妹のさつきさん(12)らとともに長野県など県外のスキー場に積極的に出かけ、家族が丸となって、練習を積んできた。公英さんは「これほど早く決まって驚いている。石の上にも三年というが、『コブの上にも三年』。こつこつ練習してきた成果をトリノで思い切り発揮してほしい」と話した。



トリノ五輪出場が内定し、笑顔を浮かべる伊藤みき選手。日野町大窪で